

# 「関西ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021」を盛り上げるプロモーション活動 <mark>~インター</mark>カレッジコンペティションへの企画プレゼンテーションを通して~



#### **DATA**

#### 主な連携先・メンバー

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会/スポーツ コミッション関西/一般社団法人関西経済同友会/関西広域連合/ 全国大学体育連合/大学コンソーシアムKANSAI/ 関西大学人間健康学部西山哲郎ゼミ

#### - 活動地域

滋賀県/京都府/大阪府/兵庫県/和歌山県/鳥取県/徳島県/奈良県

- 活動期間
- 2014年度~2018年度
- ■活動資金

なし

# 活動の目的

「関西WMG2021」を成功させることにより、スポーツで関西の経済や 地域活性化に貢献する



#### 連携にいたる経緯

関西広域連合による誘致活動が実を結び、2021年、関西での「ワールドマスターズゲームズ (WMG)」開催が決定。「WMG」は30歳以上なら誰でも参加でき、毎回2~3万人が出場する 国際スポーツ大会。しかし、まだ日本での知名度が低く、人間健康学部西山ゼミは、公益財団 法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会の「インターカレッジコンペティション」へ 参加し、関西WMG2021活性化に向けた提案を行うこととなった。



## 活動内容

生涯スポーツの世界大会「WMG」2021年大会は、アジアで初めて関西での開催が決定した が、日本では2019年にラグビーワールドカップ、2021年に東京オリンピックが予定されており、 「WMG」に対する注目は分散しているのが実情である。しかし「WMG」は単なるスポーツイベント ではなく、ツーリズムの側面も高く、「関西WMG2021」の成功は関西経済の活性化を左右する と考えられている。そこで、「WMG」の開催を踏まえ、観光資源が豊富な関西の強みを活かしPRし ていくための「インターカレッジコンペティション」が開催された。

コンペティションは「関西WMG2021の誘致による関西経済の活性化」をテーマに、従来の 思考にとらわれない大胆かつユニークな発想と豊かな感性を持つ学生から、広くアイディアを 集める目的で開催された。西山ゼミは、大会を一過性のイベントで終わらせることなく、スポーツを 通じて関西を元気にしていこうという思いのもと研究や調査を行った。結果、2014年度~2016 年度には、WMG関連イベントの実施やスポーツ・ツーリズムの観点で関西地域の魅力や文化を 紹介する試みを提案し、「組織委員会賞(審査員特別賞)」や「プレゼンテーション賞」などを受賞 したほか、2018年度には「観光列車を利用したプロモーション」をテーマに発表を行った。







# 口活動の成果

インターカレッジコンペティションにおいて「組織委員会賞 (審査員特別賞)」「プレゼンテーション賞(特別賞)」などを受賞

# Q 今後の課題・目標

世界的な新型コロナウイルス感染症流行の影響を 踏まえたスポーツ推進と地域振興のあり方を再検討 する

### 教 |員 |紹 |介



■人間健康学部 教授

西山哲郎 Tetsuo Nishiyama

スポーツ社会学者として、スポーツの歴史や社会の他領域とのつながりを調べ、現状の問題点を 批判したり、選手でも気づいていない価値を明らかにする研究を行っている。

ゼミ活動では、スポーツの新しい楽しみ方を提案したり、スポーツを通じて人々の生活を豊かに する方法を考える「スポーツプロモーション」を主なテーマとしているほか、学校運動部のオルタ ナティブとして総合型地域スポーツクラブの可能性を検討している。